

応募要領

1. 公募件名

ハイパフォーマンス・サポート事業におけるアスリート支援の委嘱

2. 事業概要

独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下、「JSC」という。）がスポーツ庁から受託している「ハイパフォーマンス・サポート事業」（以下、「HPS 事業」という。）では、次期オリンピック・パラリンピック競技大会で我が国のアスリートがメダルを獲得できるよう、スポーツ医・科学、情報分野等による多面的で専門的かつ高度なサポートを提供する体制を構築し、メダル獲得が期待される競技のアスリートやスタッフに対して支援を実施します。

その一環として、国内各中央競技団体（以下、「NF」という。）が実施する強化活動に帯同し、専門的知識を最大限活用した上で、主体的かつ効果的に行う支援活動を委嘱するものです。

3. 公募期間

令和4年5月18日（水）から当面の間

4. 業務内容

別紙1の該当分野を参照のこと。別紙1にある業務を行うにあたり必要な書類等の作成。

仕様書も併せて確認してください。

5. 業務実施場所

日本国内外のNFの強化活動の実施場所

6. 支払条件

(1) 報酬

1日当たり25,000円～45,000円とし、資格経験年数等により決定します。

※消費税及び地方税は別途

(2) 報酬とは別に、JSCが業務実施に必要と認める以下に要する費用はJSCの規定等に準じた額が支払われます。

・ 履行場所までの移動

・ 宿泊

等

7. 公募に参加する者に必要な資格に関する事項

- (1) 独立行政法人日本スポーツ振興センター契約事務取扱規程（平成15年度規程第49号）第2条及び第3条の規定に該当しない者であること。
- (2) 暴力団又は暴力団関係者ではなく、かつ暴力団又は暴力団関係者と社会的に非難されるべき関係を有していない者であること。
- (3) 仕様書に掲げる条件を満たす者であること
- (4) 上記(1)～(3)の公募参加資格のない者の応募は無効とする。

8. 公募対象

(1) 必須条件

- ①別紙2に記載する資格を保持している者。
別紙2の該当分野を参照のこと。
- ②報告書等を作成するための基本的なPCスキル（Microsoft Word, Excel, Powerpointでの文書作成）を持っていること。
- ③関係団体等と口頭や文書により円滑に業務を遂行できるコミュニケーション能力を有していること。
- ④協調性、主体性を持って業務を遂行できること。

(2) あると望ましいもの

- ①1ヶ月を超える長期の海外での業務に対応可能であること。

9. 応募方法等

(1) 資格、実績の提出

応募しようとする者は、8. に示す条件に該当するもの全てについて、資格であれば証明する書類の写し、実績については経歴のわかる書類を提出すること。

10. 応募提出書類

- (1) 申込書
- (2) 職務経歴書
- (3) 応募の理由及び抱負
- (4) スポーツ歴及び分野での活動実績
- (5) 上記8. (1)①について確認可能な資料

11. 提出先等

本応募要領に従って郵送又は持参にて提出すること。

封筒に朱書きにて「委嘱契約応募書類在中」と記すこと。

- (1) 提出先：国立スポーツ科学センタースポーツ科学・研究部事業推進課
〒115-0056 東京都北区西が丘 3-15-1
- (2) 本応募要領に関する問い合わせ
国立スポーツ科学センタースポーツ科学・研究部事業推進課
電話：03-5963-0291

1 2. 委嘱先の選定

次の順で選定を進めます。

- (1) 書類審査
- (2) 面接
- (3) JSC 内部の委員会での評価・選定
- (4) 選定通過者との契約条件等の確認

分野	業務内容
コンディショニング	<ul style="list-style-type: none"> ・リカバリー及びコンディショニングの側面からの支援業務 ・パフォーマンス向上のためのプログラム実施 ・障害予防対策
トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングプログラム・トレーニング方法の構築及び指導 ・最新トレーニングプログラムの習得及び選手へのフィードバック ・主要国際大会に向けた段階的なトレーニング方法の構築、蓄積及び指導
栄養	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養相談、指導 ・コンディショニングとリカバリーのための食環境の提案
心理	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルトレーニング（チームビルディング等含む）指導 ・心理相談等のサポート活動業務
映像	<ul style="list-style-type: none"> ・競技大会やトレーニングにおける映像情報の収集 ・強化課題発見のための映像分析 ・強化スタッフが情報共有するためのデータ処理
バイオメカニクス	<ul style="list-style-type: none"> ・強化現場におけるビデオカメラ等を用いたバイオメカニクスの情報収集 ・モーションキャプチャシステムや床反力計を用いたバイオメカニクスの計測 ・パフォーマンスと動作に関する情報に基づく強化課題の分析
生理生化学	<ul style="list-style-type: none"> ・競技会やトレーニング現場での生理学的情報収集 ・生理学的情報に基づく強化課題の分析

分野	資格・スキル・経験
コンディショニング	<p>○次のいずれかの資格を持っている者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスレティックトレーナー ・障がい者スポーツトレーナー ・理学療法士 ・柔道整復師 ・はり師 ・きゅう師 ・あん摩マッサージ指圧師 <p>○競技スポーツにおけるトレーナーとしての活動経験が1年以上あること。</p>
トレーニング	<p>○次のいずれかの資格を持っている者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本トレーニング指導者協会（JATI）上級トレーニング指導者（AATI） ・日本トレーニング指導者協会（JATI）特別上級トレーニング指導者（SATI） ・日本トレーニング指導者協会（JATI）トレーニング指導員（ATI） ・National Strength and Conditioning Association（NSCA） ・NSCA-Certified Personal Trainer（NSCA-CPT） <p>○運動指導に関する経験が1年以上あること。</p>
栄養	<p>○関連領域の修士</p> <p>○管理栄養士免許を有する者</p> <p>○公認スポーツ栄養士を受講中、もしくは取得済みであることが望ましい</p>
心理	<p>○関連領域の修士</p> <p>○次のいずれかの資格を持つ者もしくは取得を目指す者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツメンタルトレーニング指導士 ・公認心理師 ・臨床心理士
映像	<p>○関連領域の学士</p> <p>（パフォーマンス分析、動作分析、ゲーム分析、情報処理、情報工学）</p>
バイメカ	<p>○関連領域の修士</p>
生理生化学	<p>○関連領域の修士</p>